



川の 上流、中流、下流の石はどのようにちがうの

上流の石は、大きくて角ばっている

川の 上流 は、両側を山で囲まれ、谷間を流れているので、川底のかたむきが急になっています。水の流が速いので、川底が深くけずられて、川岸は急ながけになっています。川岸の岩石が、くずれ落ちたりすることがあって、流れの中に、大きな角ばった石がたくさんあります。

小さな石は川の流で運ばれますが、大きな岩石は重いので、なかなか流されません。それで、川の 上流 は小さい石が少なく、大きくて角ばった石が、たくさんあります。

中流、下流の石は、丸みをもっている

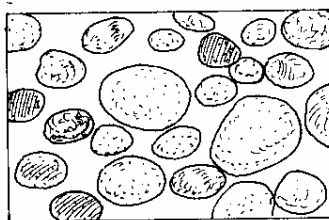
中流 は 上流 に比べて、流はややゆるやかになり、流されてきた石は、川底に積もります。上流 から石が流されてくるときに、石は川岸や川底にぶつかったり、ほかの石とぶつかりあったりして、しだいに小さく割れて、角がとれて丸くなってきます。

中流 の石は、大きさはいろいろですが、どれも角がとれて、丸みをもっています。

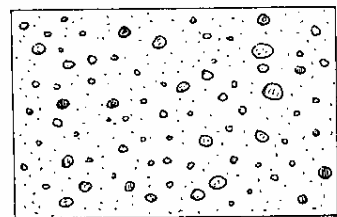
下流になると川はばは広くなり、水の量も多くなりますが、川底のかたむきがほとんどのいので、水はゆっくりと流れ、大きな石は流されてきません。そのために、小さくて丸い石や、砂やねん土(どろ)が積もります。(監修・国司 真)



上流の石



中流の石



下流の石

